

北海道の学童保育は 160 市町村に 898 か所 入所児童数は 3 万 5613 人

2011 年 5 月 1 日現在の北海道の学童保育実施状況調査の結果がでました。

北海道の学童保育は、160 市町村（昨年は 157 市町村）に 898 か所（昨年は 876 か所、22 か所増）となっています。

179 市町村中、設置率は昨年の 87.7%から 89.4%にあがっています。

また、小学校数との比較では、全道に 1182 校（昨年は 1228 校で 46 校減少）の小学校数対して学童保育の設置率は 75.97%（昨年は 71.33%）となっています。

運営では、全体的に公立公営が 54.7%（昨年は 55.3%）と減少し、委託が増加しています。指定管理者制度に基づく委託を「代行」という区分で分類していますが、道内では全体の 22.5%（198 か所）で、法人などへの代行、委託などが若干増えてきています。新規に、あるいは分離開設で数が増えたところは公立公営が若干増えたものの、全体としては法人への代行や委託などが増えてきているという特徴になります。

施設では、年々、児童館の使用が減り、学校施設や法人所有の施設が増えています。道内の児童館が老朽化や狭いという理由から、学校空き教室や新たに建設された複合施設などに移ってきています。また、法人施設は指定管理で委託されたことで増えてきています。一方で、減ってきてはいるものの、民家やアパートなどを利用するところが 80 か所ほどあり、耐震化問題も含んだ施設問題は深刻になってきています。

入所児童数調査では、3 万 5613 人（昨年は 3 万 3582 人、2031 人増）が登録されていました。これは札幌市が 4 年生までの登録を拡大したため児童数が急増したことが大きな要因です。それだけ 4 年生以上の入所希望も多い一方で 3 年生までの受け入れしかしていないことの現れでもあります。

入所児童割合では、40～70 人のところと 20 人～39 人のところが 37%とほぼ同じになっています。昨年と比較すると、適正規模といわれる 20 人～39 人のところが昨年よりも増加した一方で、国の補助金打ち切りがなくなった 71 人以上のところは若干増加傾向にあり、分割が進んでいない実態がうかがわれます。1 か所にいかに大人数の子が入所している状態を解消するために急いで分離して、子ども達の生活を保障すべきです。

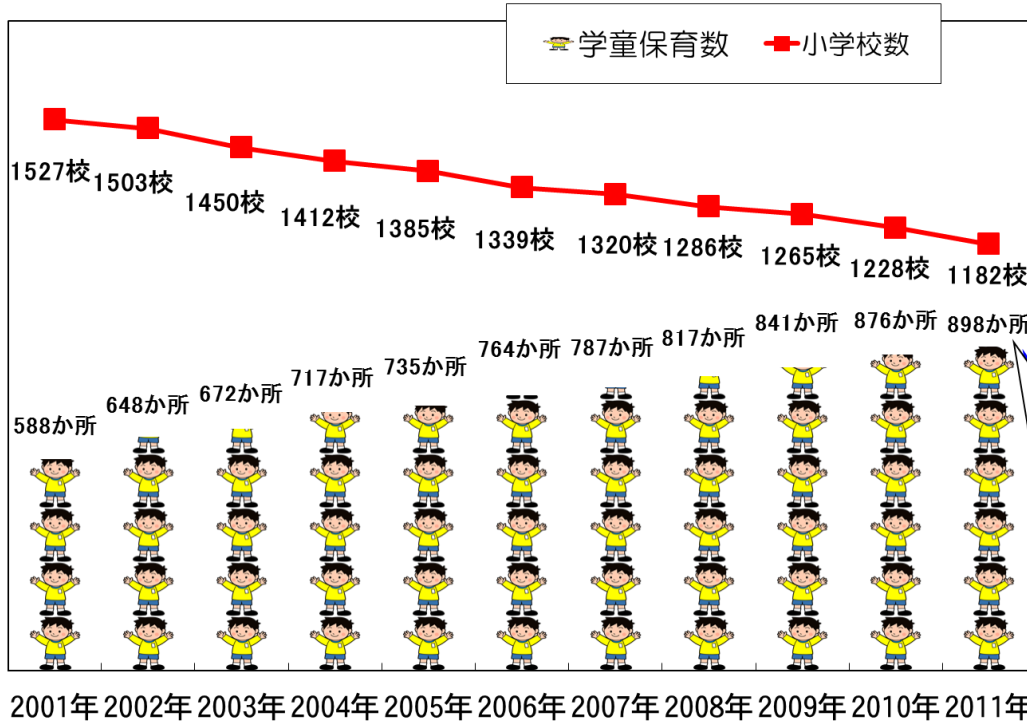
一方で、9 人以下がまだ、4.1%あり、か所数では 37 か所あり、昨年よりも増えています。道の単独補助をもらっているところもありますが、なかなか解消できない課題になっています。

北海道全体の傾向は昨年と大きく変わっていないものの、自治体内の少しづつの変化は行われています。よりよい変化が行われるよう、道連協としても、学童保育にかかわる情報をいち早くつかみ、伝えていく必要も感じています。

北海道の学童保育

2011年5月1日現在

北海道の小学校数と学童保育数



北海道の学童保育は、年々増えています。この数年、小学校は毎年40校が統廃合されています。一方学童保育は、昨年から22か所増えました。でも、まだ、小学校数の76%にしか学童保育はありません。

北海道の学童保育は
160自治体
(35市115町10村)
まだ設置されていない所は
14町5村 (全市町村の89.4%の設置率)

898か所

小学校数は
1182校

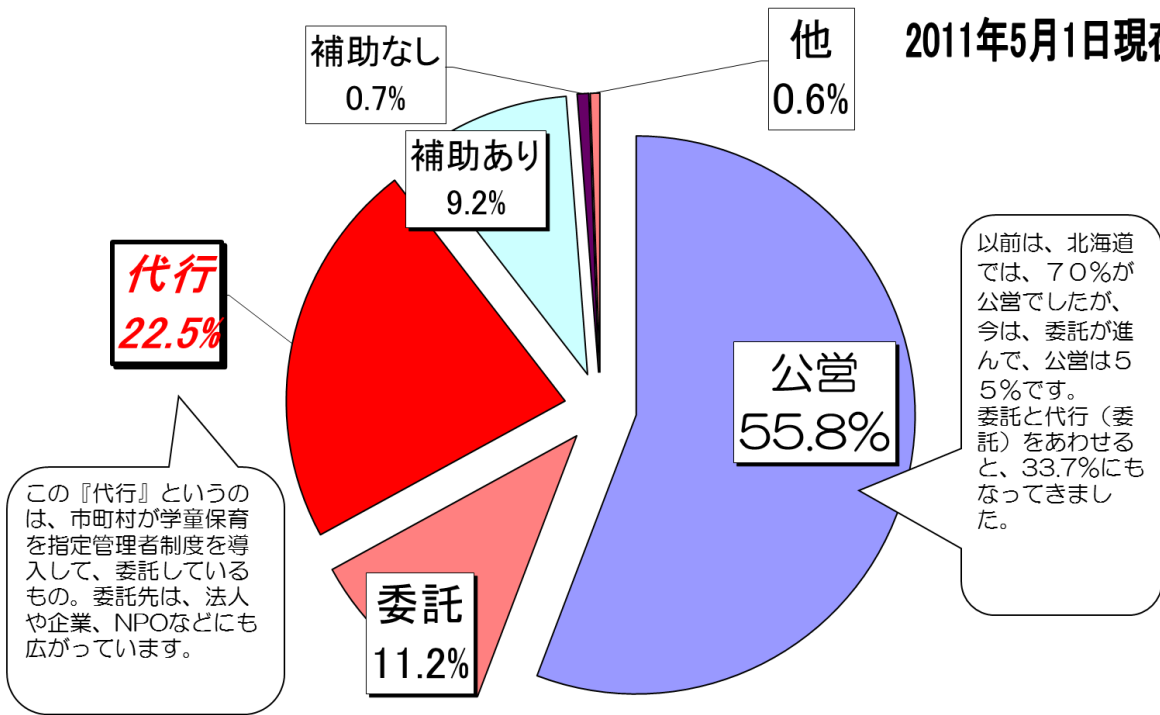
**設置率は
75.97%**

入所児童数は

3万5千613人

北海道の学童保育の運営

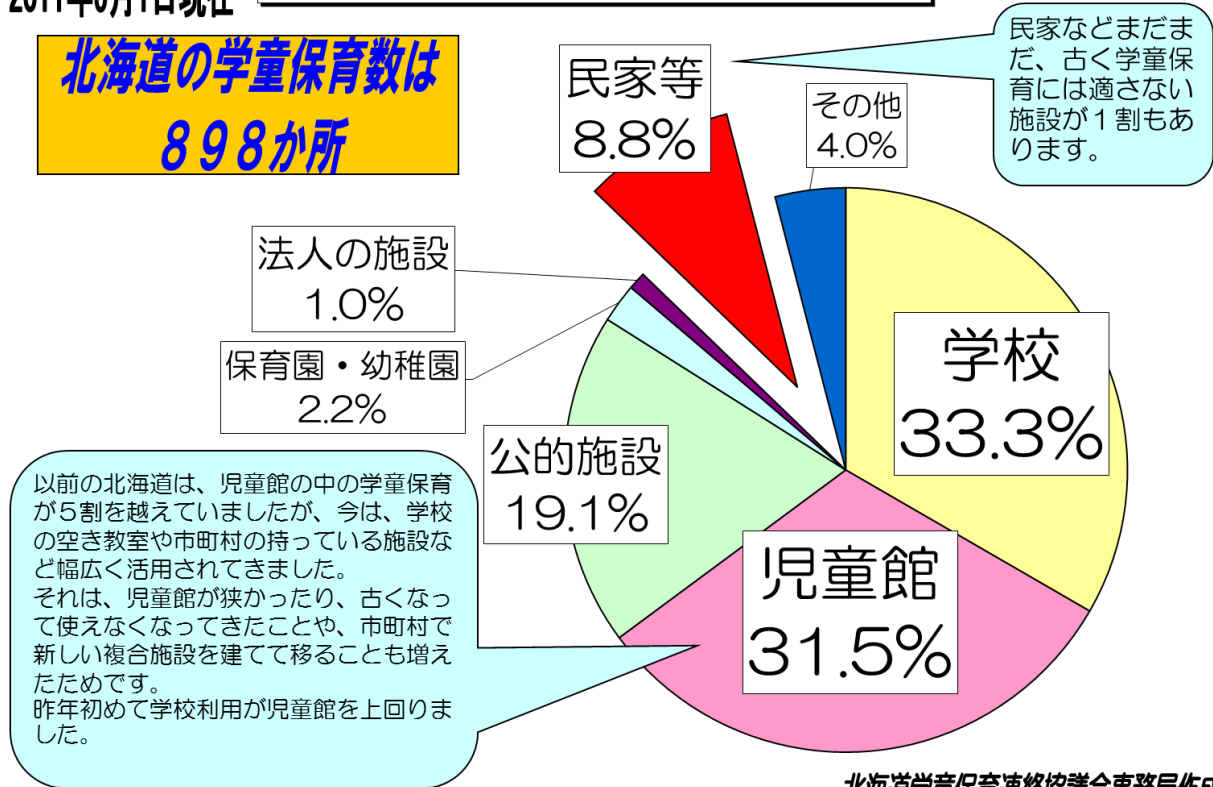
2011年5月1日現在



北海道の学童保育の施設

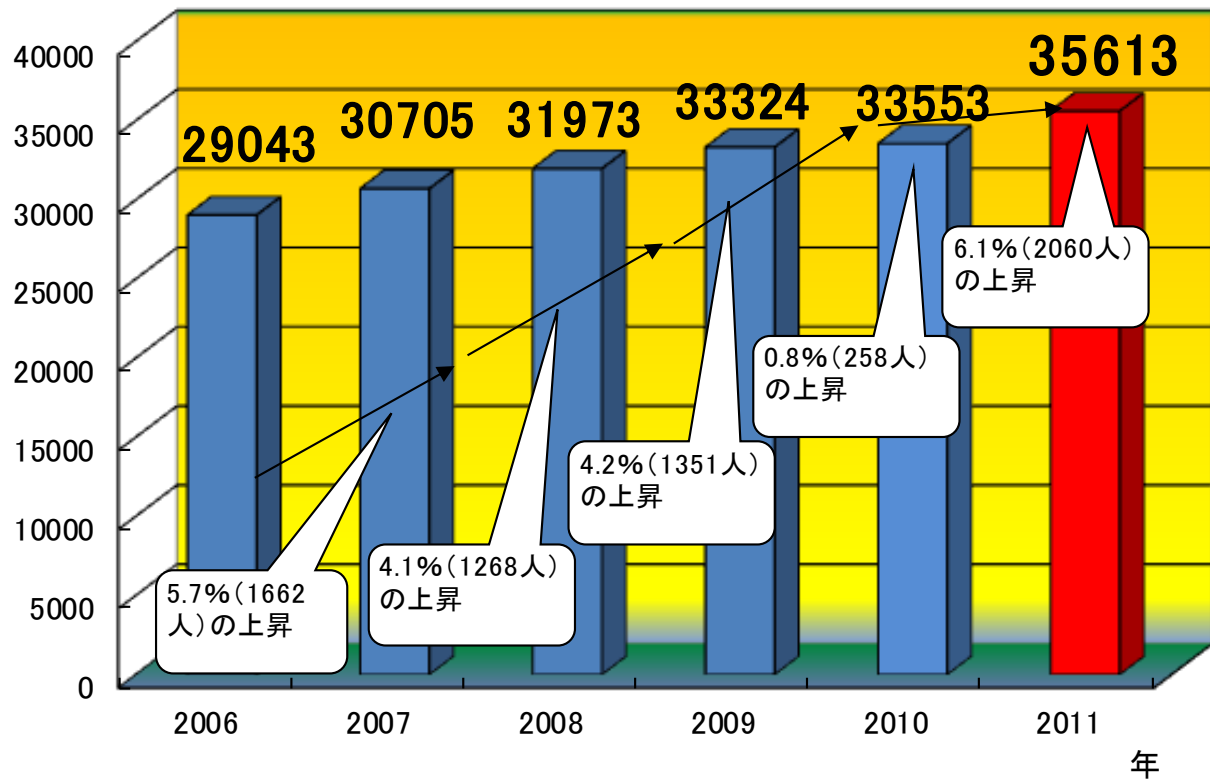
2011年5月1日現在

北海道の学童保育数は
898か所



北海道学童保育連絡協議会事務局作成

北海道の学童保育への登録児童総数



道内の入所児童人数比率

